

平成23年5月31日

お 知 ら せ

資料提供

三次記者クラブ

災害対策機械が東北から帰還し、これから 三次市・安芸高田市での出水に備えます！

3月11日に発生した東日本大震災の復旧支援活動のため、三次河川国道事務所から東北地方に派遣していた災害対策機械が無事帰還し、これから到来する雨の多いシーズンに備えます。

三次河川国道事務所が東北地方に派遣した災害対策機械は3台で、3月13日に三次河川国道事務所を出発した後、東北地方で計79日間に及ぶ災害復旧支援活動に従事し、5月30日に三次河川国道事務所は無事帰還しました。

帰還した災害対策機械は、排水ポンプ車2台と照明車1台で、東北地方においては昼夜を問わない復旧作業に従事し、東北地方の復興に貢献してきたところです。

(東北での活動及び帰還式の状況は別紙のとおりです)

今回帰還したこれらの災害対策機械は通常どおりの配備に戻り、これから到来する雨の多いシーズンにおいて、地域が安全で安心できるよう、防災・減災活動に役立っていきます。

●問合わせ先 国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

副所長(河川担当)

ますい よしき
榊井 芳樹

【担 当】河川管理課長

たむら みのる
田村 実

【広報担当】建設専門官

なかい きみお
中井 喜美男

TEL:(0824)63-4121(代表)

災害対策機械の帰還式の状況

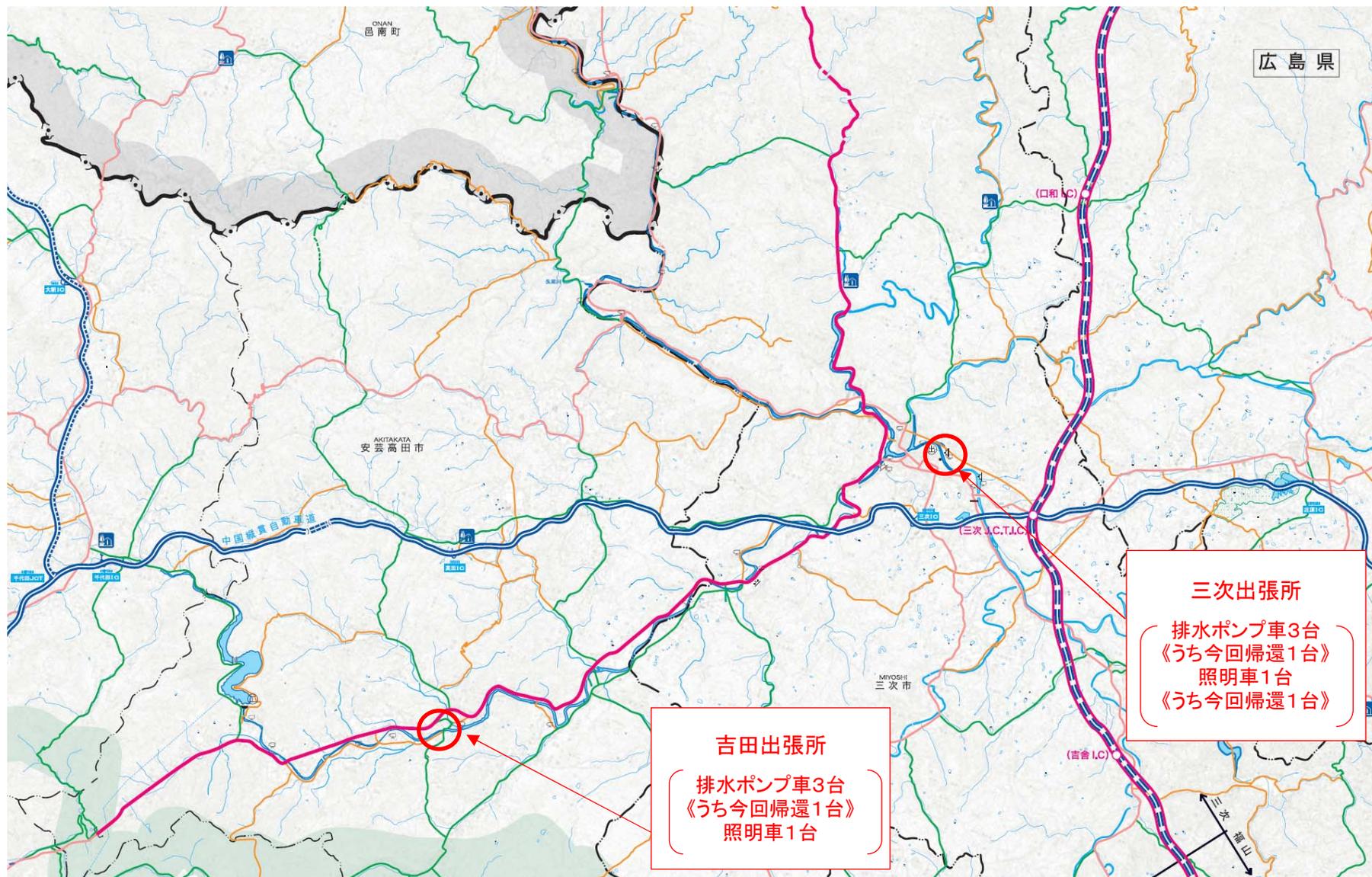
【 5月30日開催 於：三次河川国道事務所三次出張所 】



上：東北より帰還した3台の災害対策機械
右：活動状況報告を行う建設会社スタッフ



三次河川国道事務所が保有する災害対策機械



東日本大震災 緊急排水「仙台空港再生」の第一歩

仙台空港再生に向けた排水作業のため、全国の地方整備局保有の排水ポンプ車を集結し、約1週間で概ね排水完了
(3月27日)

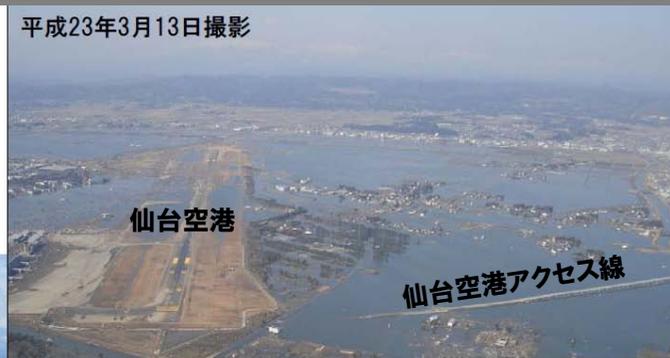


【仙台空港北部の湛水状況】

平成23年3月27日撮影

- 【緊急排水概要】3月26日時点
- ・排水ポンプ車配備延べ176台日
 - ・排水開始3月20日(一部13日から開始)
 - ・総排水量(試算)約500万m³(25mプール約14,000杯分相当)

平成23年3月13日撮影



平成23年3月19日撮影



津波による湛水状況



排水ポンプ車稼動状況(平成23年3月20日)



排水効果湛水深の減少

湛水区域が縮小

湛水区域が縮小

湛水区域が縮小

湛水区域が縮小

排水作業中

トンネル入口部

トンネル出口部

・3月13日時点に比べ、湛水範囲が縮小し、畦畔が露出しています。

・仙台空港アクセス線のトンネル出入口部の状況が確認可能となっています。

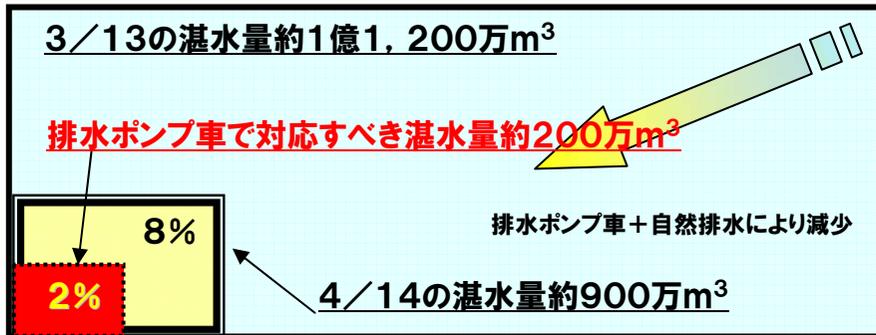


東日本大震災 自治体の支援(緊急排水対策)

排水ポンプ車により24時間体制で排水作業を実施

国土交通省による排水対策実施箇所 4月14日現在

- ・地震津波により、太平洋側沿岸で約1億1,200万m³(東京ドーム約90杯分)が湛水。(3月13日時点)
- ・排水ポンプ車により、4月14日までに約3,400万m³を排水。自然排水と併せ残りは約900万m³(約8%)に減少。
- ・湛水域の水深が50cm以上は、排水ポンプ車により4月末を目処に排水(約200万m³)。残りは小型ポンプや海岸堤防の復旧に併せて実施。



津波により排水機場が浸水。原動機等が水没。



津波により排水路に瓦礫が散乱。一部は水路に埋没。



津波により排水路に瓦礫が散乱。一部は水路に埋没。河川水や海水を隔てる堤防が津波により流失。



浜市排水機場(東松島市)



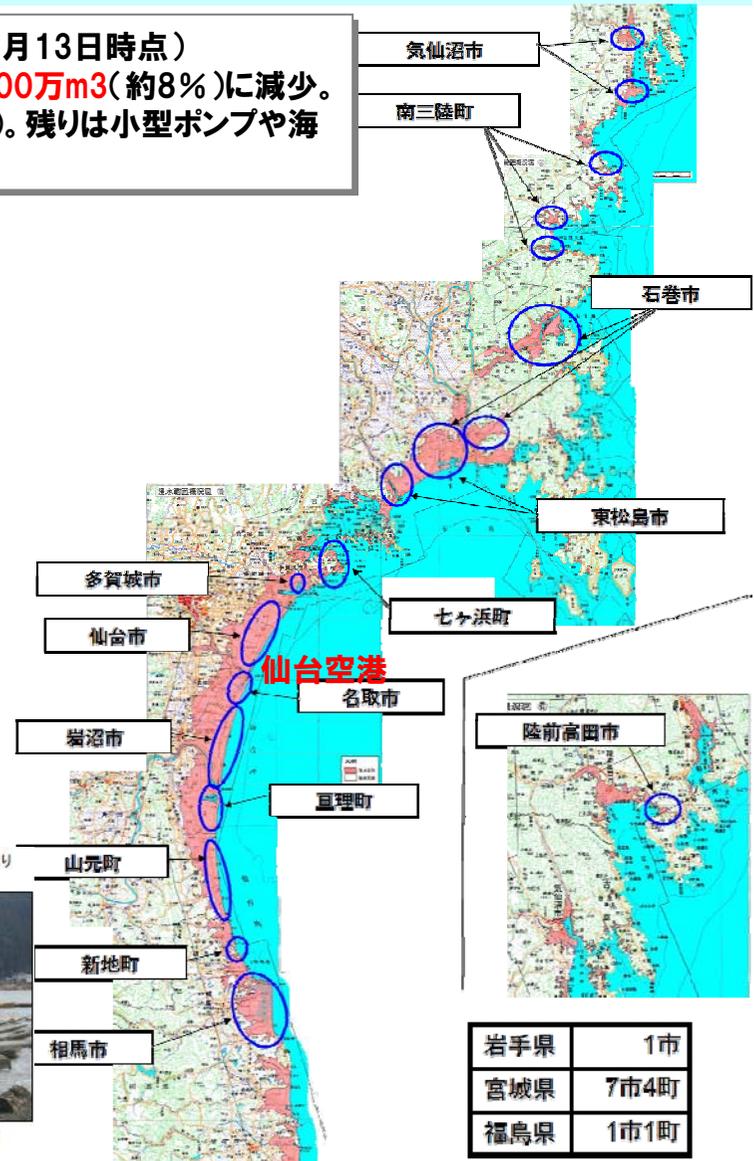
中下排水機場(東松島市)



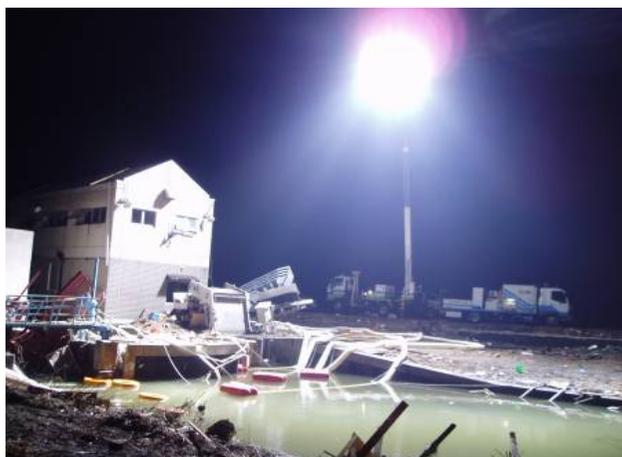
九号排水路(亶理町)



北上川右岸堤防(石巻市)



東北地方各地で災害復旧支援活動に従事する建設機械



行方不明者の捜索活動を支援するための排水作業及び夜間照明
(宮城県東松島市)



宮城県石巻市釜谷での排水作業



宮城県七ヶ浜町での排水作業

※この資料は、国土交通省が保有している建設機械の活動状況を示すものであるため、必ずしも三次河川国道事務所が派遣した機械が写っている訳ではありません。